

重点目標 (めざす姿)	具体的方策	主担当	【評価指標】 ＜成果指標＞＜努力指標＞ ＜満足度指標＞	【評価の根拠】 達成度判断基準	取組状況と今後の改善策	評価	学校関係者評価者 による意見
1 (教師力を組織的な学校運営を高める)	①気づきを大切に、的確な「報告・連絡・相談」をする。	運営委員会	【努力指標】 管理職、校務分掌、学年での「報告・連絡・相談」を密にし、協力して課題解決に対応する。	【教職員アンケート】 ・気づきを大切に、的確な「報告・連絡・相談」をしている。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満			
	②働き方の見直しを進める。	運営委員会	【努力指標】 月2回以上の定時退校を設定したり、業務の平準化を行ったりすることで、時間外勤務時間を短縮する。	【時間外勤務時間調査】 ・時間外勤務時間が月80時間を超えないように勤務している。 A 100% B 90%以上 C 80%以上 D 70%以上			
	③重点課題の解決のために「親和的な集団」をつくる。	生徒指導	【努力指標】 生徒と向き合う時間を確保し、「親和的な集団」づくりを目指す。	【教職員アンケート】 ・生徒と向き合う時間を確保し、「親和的な集団」をつくることを大切にしている。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満			
2 (自ら進んで学ぶ生徒)	①わかる・できる授業を展開する。	研究	【満足度指標】 学力向上のための方策として、授業改善や授業規律の確立、9年間を見通した学習指導の徹底を行い、「根っ中授業スタイル」の充実を図る。	【授業アンケート】(研究部) ・授業はわかりやすい。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 【教職員アンケート】 ・わかる・できる授業となるよう、授業改善に取り組んでいる。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 ※生徒Aと教職員Aで「A」とする。			
	②基礎・基本を定着させる。	研究	【成果指標】 基礎・基本を定着させることで、わかる・できる授業の基盤をつくる。	【生徒アンケート】 ・基礎・基本の定着に取り組んでいる。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 【教職員アンケート】 ・基礎・基本が定着するよう、個に応じた指導を工夫している。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 ※生徒Aと教職員Aで「A」とする。			
	③端末を含めたICT環境を活用し、個に応じた指導を充実させる。	研究	【満足度指標】 授業のねらいを達成するために、ICT機器を効果的に活用することで、個に応じた指導の充実を図る。	【生徒アンケート】 ・授業のねらいを達成するために、ICT機器を効果的に活用している。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 【教職員アンケート】 ・授業のねらいを達成するために、生徒がICT機器を効果的に活用できるよう、指導を充実させている。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 ※生徒Aと教職員Aで「A」とする。			
3 (明るく素直に振る舞う生徒)	①生徒指導・教育相談を充実させる。	生徒指導	【努力指標】【成果指標】 生徒指導や教育相談を充実させることで、年間の事案件数を減らす。	【生徒指導データ】 ・生徒指導事案(暴力・いじめ等)の発見と解決。 A 100% B 90%以上 C 80%以上 D 70%以上 【教育相談データ】 ・新たな不登校及び不登校傾向の生徒をつくらない。			
	②特別の教科道徳を大切に育てる。	教務・研究	【努力指標】 特別な教科道徳で学んだことを実生活の場面で活用できるようにする。	【生徒アンケート】 ・道徳の授業で学んだことは、学校や家庭での生活の場面などで生かしていくことができる。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 【教職員アンケート】 ・道徳の授業を通じて、豊かな心を育み、実生活の場面で学びを生かすことができるよう、工夫している。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 ※生徒Aと教職員Aで「A」とする。			
	③郷土を愛する心を育成する。	教務・研究	【満足度指標】 地域と連携したキャリア教育やふるさと教育を計画的・効果的に実践する。	【教職員アンケート】 ・総合的な学習の時間等を活用し、生徒のキャリア発達を促したり、郷土を愛する心を育成したりする。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 【生徒アンケート】 ・「根上が好きか？能美市が好きか？」の結果 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満			
4 (強い身体をもつ生徒)	①基礎体力を向上させる。	保健体育	【努力指標】 教科体育の充実や適正な部活動運営を通して、基礎体力の向上を図る。	【体力テスト】 ・2、3年生の体力テストにおいて、総合評価のA、Bが占める割合 A 60%以上 B 50%以上 C 40%以上 D 40%未満			
	②健康教育を充実させる。	保健環境	【満足度指標】 「早起き」「朝ごはん」を基盤として、歯科検診や視力検査の結果を含め、生徒が年間を通して自分の健康について考えられるようにする。	【生徒アンケート】 ・「早起きができて」「朝ごはんを食べている」ができています。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 【保健調査】 ・歯科検診、視力検査の受診状況 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満			
5 (コミュニティスクールとの連携)	①学校運営協議会を充実させる。	教務	【満足度指標】 学校運営協議会を中心に、コミュニティスクール(CS)としての機能を推進し、家庭・地域との連携を強化する。	【保護者アンケート】 ・コミュニティスクール(CS)をもとに、学校・保護者・地域がつながり合い、生徒の成長を支えることができていると思う。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 【教職員アンケート】 ・学校運営協議会での話し合いを中心に、保護者や地域からいただいた意見を、日々の教育活動に生かしている。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満			
	②適切な情報公開と社会貢献を展開する。	教務	【成果指標】 ホームページ等での情報発信につとめ、学校教育活動に対する家庭・地域からの理解を深められるようにする。 【努力指標】 学校教育活動全体を通して、「働く子」を育成する。	【保護者アンケート】 ・生徒の学校での活動の様子を知るために、学校ホームページを定期的に閲覧している。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 【生徒アンケート】 ・「そうじをしている」「あいさつができる」の結果。 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満			